

校の学生自治会から胆振東部地震の被災者支援金として現金10万円の寄付を託していただきました。写真。



自治会長の堂前香鈴さん(20)も学科2年、日本語学科8期生のプラナスイ・サルトルさん(23)の2人が来庁し、市川直樹副町長に託しました。

昨年9月に発生した胆振東部地震後、現在も避難生活を続けている被災地の方に支援を」と同校の学校祭で開いた学生模擬店の売上金を持参しました。町では胆振管内厚真町へ送金することになっています。ありがとうございました。

町代表団がロシア・アニワ市を公式初訪問

昨年11月28日から同年12月1日、松岡市郎町長、高橋昭典議長ら代表団10人がロシア・サハリン州ア



ニワ市を訪問し、ラザレフ・アルチョム市長らと教育と文化を中心に交流を進める話し合いに合意しました。写真。

初訪問は、民族音楽やダンスなどで歓迎を受けました。学校では事前学習で東川町に対して生徒たちの理解も進んでいました。アニワ市文化センターで映画「写真甲子園0・5秒の夏」の上映もあり、東川の写真甲子園取り組みに興味を持ってくれたようです。

在ユジノサハリンスク日本国総領事館の紹介で、交流の話し合いが実現しました。サハリン州の州都、ユジノサハリンスク市から車で約45分南西部に離れ、日本領有下だった旧樺太時代の旧名・留多加。周辺14市町村の広域行政体の中心自治体(人口は約9万5000人)。

大雪山フォーラム開催

(一社)ひがしかわ観光協会(浜辺啓代表理事)、町など共催の本年度第2回の「大雪山の『価値』を知り『活(い)かす』ためのフォーラム」が昨年12月15日、せんとびゅあIで開かれ、約100人が来場しました。

北海道教育大学旭川校の和田恵治教授、北海道大学大学院農学研究院の愛甲哲也准教授、北海道大学観光学高等研究センターの木村宏特任教授、NPO(特定非営利活動)法人もりねつと北海道(旭川)の山本牧代表の4人が出席しました。



あさひかわジオパークの会代表の和田教授は「大雪山はここ3千年間マグマ噴火が起きて

いない。旭岳は2千900年前の山体崩壊で出来、直近の噴火は250年前の小規模な水蒸気爆発」

「溶岩先端部に旭岳源水があり地下水が湧き出している」などと成り立ちを説明。「旭岳は大雪火山群で一番新しい。大雪山ジオパーク構想の中核をなす」などと上川盆地、旭川神居古潭を含む広域ジオパーク構想の一端を示しました。

木村特任教授は、持続可能な開発目標を立て、独自の価値としての地域ブランドをつくる必要性を説きました。

「観光も地域創生の力になっていく。大雪山を守り生かすためのワンストップ窓口が必要。環大雪山にはいろいろな取り組みがあるが、果たして(ばらばらの活動で)大丈夫か? 地域の人々が総合的につながれるストーリーをつくる必要がある。上川アイヌとの共生ストーリー、地域のアイデンティティを共有して価値を向上させる地域ブランドをつくる仕組みが必要」などと求めました。

山本代表は「山ろくまで広がる多様な自然と生活、文化が形成され、世界水準でも貴重な価値。世界自然遺産、世界文化遺産より世界複合遺産を目指すべき」などと話しました。

愛甲准教授は「環大雪山の自然環境と地域社会の持続性を共有し

て価値を高め、ブランド力を持つ仕組み、具体的取り組みを行う時期にきている。表大雪(上川側)、東大雪(十勝側)を含めた登山道維持のための関係者、研究者、教育機関と連携して管理運営を充実させる取り組みが必要」とし、世界複合遺産など国際的な認証を目指す取り組みを求めました。

オーロラ上映&トークライブ

みんなのスマイルプロジェクト札幌在住のオーロラ写真家、中垣哲也さんの「オーロラ上映&トークライブ」を開催します。

オーロラ、星空、極北の自然の美しさと地球の驚異を語ります。前日の同月26日(土)は旭川市民文化会館で先行上映会を開きます(有料)。

日時 1月27日(日) ①午前10時半から ②幼児、小学低学年向き(保護者同伴)、託児あり(要申し込み) ③午後2時から(中学生以上) ④午後5時から(同)

場所 農村環境改善センター
観覧料 無料(予約無用)
託児申し込み・お問い合わせ 事務局の藤井さん ☎080-15589-9128(午後2時以降)

「新館初の図書まつり」昨年11月11日、せんとびゅあII・ほんの森で図書まつりを開きました。

同館が新規開館して以来初の開催。会場が広くなったので、来場者は伸び伸びと会場内を散策。万華鏡の展示、工作体験コーナーでは、凝った三脚台のアンティーク望遠鏡のようなデザインの木製万華鏡など、さまざまな万華鏡を展示し写真。参加した親子は自分だけの万華鏡づくりも体験し、くるくると回すと次々模様が変わる

藤原ひろのぶさんのお話

みんなのスマイルプロジェクトNPO(特定非営利活動)法人「NGO GOOD EARTH」代表、藤原宏宣さんのお話を開きます。当日は終了後懇親会も開きます(有料)。

日時 1月13日(日) 午後1時から

場所 旭川市民活動交流センター CoCoDe (旭川市宮前1条3丁目)
参加費 大人2千円、高校生以下無料(家族・再参加割引あり)。
お問い合わせ 事務局の藤井さん ☎080-15589-9128(午後2時以降)、中井さんまで。Eメールは 1123nakai@gmail.com

新館初の図書まつり

昨年11月11日、せんとびゅあII・ほんの森で図書まつりを開きました。

同館が新規開館して以来初の開催。会場が広くなったので、来場者は伸び伸びと会場内を散策。万華鏡の展示、工作体験コーナーでは、凝った三脚台のアンティーク望遠鏡のようなデザインの木製万華鏡など、さまざまな万華鏡を展示し写真。参加した親子は自分だけの万華鏡づくりも体験し、くるくると回すと次々模様が変わる

第45回 ひがしかわ氷まつり

1月19日(土)~21日(月) 主会場:羽衣公園

19日(土)前夜祭 <ul style="list-style-type: none">●氷彫刻コンクール●第5回北海道氷彫刻コンクール表彰式●花火大会	20日(日)本祭 <ul style="list-style-type: none">●レインボースロープ●スノーラフティング●どさんこ馬と仲良くなる日●氷雪像コンクール表彰式●旭川大学高校吹奏楽部新春コンサート(東川中学校、東川高校両吹奏楽部ジョイント演奏も)
---	--

▶各種ゲームコーナー、おでん、豚汁、ラーメンなど飲食店も多数出店!

お問い合わせ/氷まつり実行委員会(ひがしかわ観光協会内) ☎82-3761



て変化する不思議な世界を覗き見て楽しみました。

おはなし会は、おはなしの会ピピピと旭川福祉専門学校の学生が語り部になって絵本を読み聞かせ、小さい子どもたちは釘づけ。恒例の古本リサイクル市は、用意した約600冊の本がほぼなくなる盛況ぶりにぎわいました。

「楽々カラダ作り」教室

40代からの女性のための体づくり教室です。ストレッチポール、ひめトレ、ピラティスを組み合わせ、むくみ、冷え症、肩こりなどの解消を目指します。

日時 ①隔週月曜日(1月7日、

社協だより

温かい善意ありがとうございます。2019年11月16日から同年12月15日までに社会福祉事業にご寄付いただいた方は次のとおりです。

《ご香典の返礼にかえて》
新栄 宮野 安春様
16西 松田 隆次様
北町2 関口 麗子様
東雲 畑中 律子様

「心の相談」をご利用ください。秘密は守られます。事前にご連絡ください。随時受け付けています。(☎82-7505) 今月の相談員は次のとおりです。

馬場 猛